宇治市政

關機市治宇

発行所
京都府宇治市宇治妙楽一六〇ノ一
宇治市役所
編集兼発行人
京都府宇治市役所総務課
松井隆之助
電話 宇治四〇〇番
毎月一日発行一部三円
宇治市宇治妙楽
印刷所 新進堂

市赤字克服の基本構想と明年度豫算

難關突破に全市の協力を要望する

池本市長

度々云つている如く、明三十年度こそ赤字解消第一年の実を挙げねばと堅く決意している。それが出来なければ、各方面の最后的信を失い、融資の途が杜絶して、宇治市は窒息せざるを得ないからである。実は本省より赤字の融資しない団体に本市を指定する通牒さえが出されているのである。

その解消案はいま編成中で、まだ具体的に述べ得る時期ではないが、求められるまゝに構想の大体を左に述べる。

一、先づ解消の目標赤字は凡そ一億円だ、この額は今の金高にして左程のものではないが市の身柄より見て非常に大きいのである。即ち八ケましい京都府の赤字十六億円は、その年間予算額よりは一割だ、当市の正味予算は、先づ二億五、六千萬円だから、一億円は四割にも当る、府の赤字はこの割合からゆけば、五、六十億円に当るだから、当市の赤字の如何に重荷であるかを、先づ一般が認識して貰わねばならない。

二、そこでこれの解消年限だが、これは方法の深度如何で伸縮する私としては、先づ成るべく痛さの軽い程度から初めるとして、今の処四ケ年位でと考えている。

三、すると、初年度たる三十年度には、どうしても二千萬乃至三千萬円の黒字が必要だ、即ちこの目標で予算編成をやるのである。

四、処が困つたことに、肝心頼みの税収が税法改正で、来年度は千萬円から千二百萬円の減収懸念で、泣面に峰とは正にこのことだ又長期市債の元利償還が九百四十萬円許りあつて、本年度に比べ二百五十萬円増加する。斯様の次第で二千萬円黒字の為には三千二、三百萬円切込まねばならず、これは正味予算の一割三分内外にも当る重圧だ。

五、そこで、三十年度の実際計数だが、基準規模として先づ税収其他の正確な歳入見積りをし、之より黒字想定額を押えた額を歳出とする。これが先づ一億円そこそこで、それに補助、起債、融資のある事業が肉付された合計が、総予算となる訳である。

市関係の全員悉くが、等しく此難関突破を擔う覚悟を持つて貰うに在る。

実際の処理としては、先づ歳入に付き使用料、手数料、占用料等を検討し、引上げ得るものを引上げる。一般的増税は考えていない、但し納得徴税は励行する。歳出に付ては人員給与及事業費の圧縮は第一義として出来る丈避け、代りに消耗、需用、旅費、交際費、補助費の類を極力切詰める。補助費に付ては、本市は余りに多岐多額だから、之が節減には関係者の十分な理解を望みたい。特にこの場合市と相手団体とは、別者でなく一心同体で、切る切られるという間柄でなく、同じ身体の一部を全身補強の為に相共に切るのだという観念に立つて頂くことだ。

七、以上の如くにして、何処迄の黒字を出し得るか、その如何には依ては、段々メスを深めてゆく外はない、又案を以て関係官署と折衝する場合、相手方の出よう如何でも、メスの深度が変らざるを得ないことも諒承願つて置かねばならない。

八、尚編成は完全年間予算。且収支共計上数字は正確を期し、あくまで真に、こゝを市興廃の岐れ目として、断乎情実、因縁を絶ち切り、縮である。これには自他共に冷厳やふやをやらないことは勿論である。

六、問題は前記基準額迄への圧

公明選擧で……民主政治を推進しよう……

一月二十四日衆議院は解散され、いよいよ一切を国民の審判にゆだねる、総選挙とはなつた。

政界浮化の声は久しい。そして尚政治の不信も深いものがある。その汚染の深さを救うものは、何よりも清潔な選挙から初められねばならぬ。

よい機会はおとずれた。今こそわれ〳〵の正しい手、美しい手をもつて、日本の政治に、救いと光りとをもたらそうではないか?。

二月二十七日、この日こそ、光栄であれ?

新らしい日本の政治の門出のために。

九、終りに右様引締め予算の中にも、どうしてもやらねばならない事業は、出来る限り考慮する。ちつとは明るい仕事もやつて見度い、更に機構改革だが、これは経費的目的の為には、余り役立ちそうも無いが、それでも幾分の役立ちと、別の観点より多少はやるべきかと考えている。

一〇、以上色々述べたが、然し要は常識的に誰れが見ても、現状と対照して、無理でない尤もと思われる点に帰着せしめたいというのが私の本意である。

(一・二六)

着々進む災害復興工事

各地区別、本年度計画の概要

市災害復旧工事のその后については、鋭意その急を要するものから着手し旧観を改めつゝあるが、本年実施のものを地域ごとに要約すると、

1、みむろ苑道地区

当地区における復旧計画総工事費は四千萬円にして竣功及び工事中、二月三月着工分を含めて約一千八百万円である。

(1)戦川は京阪電鉄軌道より宇治川間延長六百米の内、本年五月末迄三百米の護岸工事が完成、残部は今年中に全部完成の予定である。

尚本川上流については公会堂を中心に上下流約四百米に亙り、来る二月に着工五月末完成の予定である。

(2)大谷川は工事延長五百米につき、計画は既に確定しているが一部危険な箇所は七月の雨季迄に完成させ残部は明年三月末迄に完成の予定である。

2、宇治地区

当地区に於ける総復旧費は約参千百萬円である。

(1)白川は二月早々、重点的に被害の著しい箇所より着工、寺川筋は白山神社附近二百米についても同様に二月早々着工する。尚最も被害の著しい白川三号線については、大体明年三月末迄には完成の予定である。

(2)塔の川、天ケ瀬吊橋等主要なる箇所は既に完成しているが懸案の天ケ瀬の陸橋は三月中旬おとき電車の再開迄に完成さす可く全力を挙げて鋭意施工中である。

(3)其の他西町から隔離病院間の道手川は、延長四百米が未施工であるが、現在上流より工事中で明年三月迄には殆ど完成の見込である。

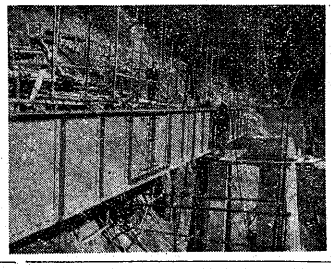


写真　天ケ瀬陸橋鋼飯桁を架設工事

3、大久保地区

当地区に於ける総復旧費は約一千二百萬円である。

(1)当地区に於ける最も重要な箇所は名木川筋であるが同河川も殆ど完成、皇大神宮社前の名木川橋も面目一新、災害前とはうつて変つて優美な姿で完成している。残る上流部の工事及び支川大谷川は二月早々に着工の予定である。

4、木幡地区

当地区に於ける総復旧費は約壹千萬円である。

(1)二十八年発生災害については此の程完成した堂の川橋の竣工を以て全部完成し、のぼり部落三百米間は二十九年災害工事として今后実施する予定である。

尚京阪電鉄上流の危険区域は近々着工の予定であり、又国鉄奈良線と市道宇治六地蔵線区間は相当危険であり、特に許波多神社附近は低地の為、降雨毎に被害を受け、かねてより再々地元からの要望があつたが今后は種々の面から検討を加え解決する様努力している。

5、東西両笠取炭山地区

当地区に於ける復旧計画総工事費は約二億六千萬円である。

(1)本地区は全宇治地区中最も被害激甚であつたので中心部に於ける災害直後の交通保全上応急工事、本工事の二段構えの着工を成る可く略して、殆ど応急工事のみを、此の両地区に重点的に集中した。従つて平地の部分については二十九年二月より本工事に着手し日常市民生活に支障のある緊急な箇所についてのみ完成を急ぎ、其の后に本格的に本工事着工の予定を樹てていたのであるが、応急工事は国費の補助が僅少で殆ど市費(起債)に依る関係上災害の状況を勘案して当初から本工事着工の予定であつた。従つて昭和三十年度事業としては東西両笠取・炭山地区に本格的の復旧工事を実施するものである。

特に炭山地区は下炭山〜上炭山間の道路が営林署の林道と市道の併用道路である関係もあり、管理上の点で応急工事が実施出来ず、誠に遺憾であると考えている。

然し幸いに本工事も河川道路橋梁を完全なる復旧工事が確定し、一日も早く着工したいと念願しているが、何分にも大規模な工事で相当な被害を受けた木幡〜炭山間の道路を完全に復旧整備してからでないと、炭山地区の着工は困難であり、特に此の道路は府道である関係上京都府土木部に工事を促進させる様鋭意交渉しているものである。

而して昭和三十年度事業として緊急重点的に着事する予定である。

6、二の尾、池の尾地区

当地区に於ける総復旧工事費約壹千萬円である。

(1)志津川池の尾間の市道池の尾線は、現在四ケ所については完成したが、引き続き池の尾迄一日も早く完成させ、日常交通に支障なき様工事を進捗させてゆく予定である。

7、一般土木事業

一般土木事業については全額市費である関係上、大規模な工事は実施出来ないが道路については旧五ケ町村地区を結ぶ幹線道路に対して均等に維持改良工事を実施している。今后も市の再建整備に当り僅少の予算ではあるが均等に且つ効果的に実施する方針である。

8、街燈について

街燈については各地区毎に要望が多いのであるが、建設費よりも維持費主として電燈料金の予算が多く建設費は一時的であるが料金は永久的に続行されるのであつて、かかる予算に就ては市の財政上の負擔能力に限度があり、これに依つて市の負擔とにらみ合せ、街燈の数も大体決定するのである。土木課では技術的な面と財政的な面とより、街燈整備の基本的計画を樹て予算と対照し、維持事業として実施の方針である。

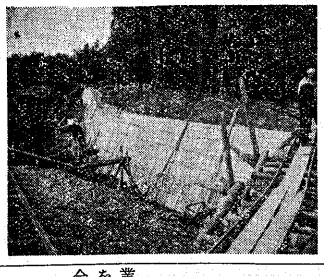


写真　戦川河川復旧工事(京阪電鉄軌道から下流三百米のブロック詰め)

二月の監査事務

市監査委員事務局は、従来市事業の管理や出納その他事務の執行を監査し、市行政の効率と運営の合理化につとめてきたが、二月は例月監査として十二、一月分臨時出納、定期検査として、会計課、戸籍課、観光課の監査を行う予定である。

超重点市政の打出しへ

豫算もさらに組替削減して　次の市會へ上程

去る十二月市会で、第三回追加更正予算を上程可決を見たが、その際の市会の要望もあり、当面赤字克服と取組む市長は、市の財政の現状より、更に徹底した現行予算の査定を行うことになり、年初より総務課では、各課毎に折衝査定を急いでいるが、近くこれが経数整理を見、更正予算が二月の市会に上程される運びである。

今年を赤字克服の第一年と取り組む市長の施策は、真にやむを得ざるものの超重点市政の打ち出しとなり、一般市民諸氏の理解と協力が望まれることになつた。

引続く　一月金ぐり

困難の内に切り抜けた

向うに大きい赤字克服の構想を画きつつ、引続き足もと月々の金ぐりに汲頭させられていると云うのが現状である。

そこでこの一月の金ぐりは、年末二千萬円の不足より、金額的には更に大きかつたが、収支次の如く乗り切るを得た。

収入
税収　六、五〇〇千円
その他　四、四七三
計　一〇、九七三

支出
人件費　五、二〇〇
災害復旧　八、六〇〇
生活保護費　三、五〇〇
其の他　二〇、二〇〇
計　▲九、二二七
差引不足　一時借入金一九、〇〇〇
返済　三口
大蔵省　一七、〇〇〇
其の他　二、〇〇〇
不足合計　二八、二二七

右不足計算に対する措置として現市当局は、根本的に、良くも悪しくも正確な金ぐり表、即ち返済計画計数表を作成し、これを借入先へ呈示して、その信用諒解を求めることとし、この考えの下に市金庫たる銀行よりの一層の融資援助を希求する態度に出で、その他支店への折衝と同時に、大阪本店に付て主悩部へ懇請する処あり、ほぼその希望を達したと共に、一方地元宇治信用金庫に於ても、よく市現在の地歩に理解を持たれ、従前より異例とする一千萬円融資の諒解を与えてもらつたので、これら諸種の状勢から、至難の当月金くりも先づは乗り切り得た次第である。

市税収徴状況

29年12月31日現在

税目	調定額	収入額	未収額	収徴歩合
	千円	千円	千円	%
市民税	36,084	22,525	13,559	62
内訳 個人	22,313	9,739	12,574	44
内訳 法人	13,771	12,786	985	93
固定資産税	74,547	55,573	18,974	75
内訳 個人	29,550	11,960	17,590	40
内訳 法人	44,997	43,613	1,384	97
自転車荷車税	1,362	824	538	60
電気ガス税	11,619	11,499	120	99
たばこ消費税	6,097	6,097	0	100
その他	15	15	0	100
計	129,724	96,533	33,191	74
滞納繰越分	31,691	8,791	22,900	28
合計	161,415	105,324	56,091	65

福角市營住宅敷地交衝解決

年末ぎりぎり、急転売買　假契約成立、即時入居開始した

旧ろう市当局とイースト水谷清重氏間の同敷地売買交渉は難行状態を見、市当局としても已むなく最后の腹をくくるに至つたが、それと同時に、解決の曙光が見え初め、三十日夜奥山助役と水谷清重氏会見、それに上林市会総務委員長立会い、深更に至つて遂に左記の通りにて一応調談、翌三十一日奥山助役より池本市長へ報告、その承認により急転解決を見た。

即ち成立内容は、坪当一千円、借入当時地上にあつた若干の建物に対し保証すること。前年災害に依る租税の減免措置は引続き税務課に於て折衝せしめること等である。

右に基き三十一日午后、市より水谷氏に代金を内渡し、即時入居決定者へ入居方を通知し、同日より新年早々にかけて続々入住者を見た。

因に、その后本月十一日市会総務、厚生合同委員会を開き、右経過を報告その承認を見た次第である。

市長の綱規粛正訓示

去る十八日池本市長は市長室に各課局長を招集し、口頭を以て庁内一般規律の保持、特に風紀が従来より庁内外の風聞に上る点に付強くその粛正を要すること、

又市現下の財政窮迫の折柄、薪炭諸用度の末に至るまでの節約方に付、各課局長に於て、その部内を統率実行するよう希望する旨訓示する処があつた。

松井総務課長病む

臨時課長代理に　中澤秘書課長

松井総務課長は過日来病気引籠中であるが、資金繰作及新年度予算編成の重要時期として、市長よりその期間中の臨時代理に中沢秘書課長兼務が指令せられた。

保育所入所の申込みは

必ず二月二十日までに

市福祉事務所では、市内各保育所の新年度入所申込の要項を発表した。

新設の宇治保育所もふくめて、入所希望の方は、二月十日から二十日の間に申込む事になつて居り申込用紙は、各出張所と厚生課にあります。（新築の宇治保育所）

櫻井池駐車場

完成すれば三十台を收容

かねて、要望されていた、観光遊覧バス等の駐車場は、面積約六〇〇坪の桜井池（宇治橋西詰より北方約一〇〇米）に決定、去年十月より埋立工事を継続しているがシーズンも近づくので、更にその台数を増加して一日約一五〇立方米の土砂を運搬、二月中には予定通りの埋立工事を完成するべく突貫工事を続行して居る。

又一方外壁工事についても請負入札に依り近日中に着工、三月中には計画通りの要壁工事を完成、シーズンには約三〇台の車両の収容力を持つプールが実現すると云うもの。

なお今后も使用に支障なき範囲内に於て道路面上の高さ迄埋立作業を続行するとともに、洗車設備便所等を設備し完備したプールにすべく計画されている。

なお同プールより橋詰に通ずる道路も舗装し、宇治の玄関として観光客に満足して頂けるものと期待されている。

償却資産の申告

届出は二月十五日まで

本市内において償却資産を所有せられる方は、毎年一月一日現在における当該償却資産について、その所在、種類、数量、取得時期取得価格等を一月三十一日迄に申告して頂かねばなりません。

申すまでもなく償却資産とは、土地家屋以外の事業用資産即ち機械器具等でありまして、例えば製造工場における機械、器具、工具及び煙突等の施設、製茶業の碾茶機、茶臼機、湯屋業の風呂釜、煙突、浴槽、給水施設、医院のX線装置、顯微鏡、美容業のパーマネント機、ドライヤー、農家の動力脱穀機、自動耕転機、肉商の冷凍装置、肉切機、洗濯商の洗濯機械遠心分離機、アイロン等が其の一例であります。

但し自動車、自転車、荷車は別に課税の対照となつて居りますので除外されます。

申告用紙は市役所税務課及び各出張所にありますから、来る二月十五日までにそれぞれ記入の上必ず申告して下さい。

無申告の方は罰則規定が適用されることになりますから御注意下さい。（固定資産係）

塔の島に五彩の放水

市消防団、出初式に水害表彰

初出式勢う五彩の龍吐水一翠雲

宇治市消防団出初式は、去る一月九日塔の島で行われ、団員五百人が参加、分列行進、功労者表彰が行われたが、折から雪空に五色の放水、河中の噴水などに見物の市民も水しぶきをうけながらかつさいをおくつた。

当日行われた表彰者は

台風十三号水害表彰　外五名
団体　宇治市消防団
個人　小倉分団長　池本初太郎　外三二名
昭和廿九年度優良消防団員表彰　外二二名
京都府消防協会長表彰　外二三名
東宇治副分団長　柳田十三雄
府消防協会宇治久世支部長表彰
東宇治分団部長　三崎三四郎
宇治市長表彰
宇治分団班長　松本二三三
感謝状贈呈
新日国工業京都工場
十五件二百五十万圓

昨年一年の火災

お知らせは専用電話で

市消防署では、この程昨年度の火災統計を別表のとおり発表した件数で十五件、二百五十萬円の損害となつている。

火事の時は、「火事」とだけ云えば、専用電話で、消防署へ直結されることを市民一般に御承知をねがいたい。

火災の覚知別表

昭和29年度

覚知別	件数	坪数	損害額
専用電話	4	97、9	1,355,500
加入電話	5	150(山林含)	27,250
署員発見	1	80、44	1,000,000
事后聞知	5	115、7	128,860
計	15	444、04	2,511,610
その他	4		

制限林の伐採許可

申請は二月二十日迄に

制限林の伐採については許可がいります。したがつて明年三月迄伐採する場合は、この二月二十日迄に許可の申請をして下さい。

申請の手続は森林組合で代筆しますから、山の地番、伐採面積、木の種類、数量と現地の略図を下書きして印かん持参すればよい。

制限林は、風致地区、保安、砂防施設地区、三、砂防指定地、四保安林など、相当ありますから、山林所有の方は、森林組合と連絡よく字番地をたしかめて下さい。（市森林組合）

出生は死亡の二倍

宇治市戸籍の一年

戸籍課では昨年度の戸籍受附件数を集計したが、受附総計数は本籍（千三百八十三）非本籍（三百四十五件）で総計千七百二十八件となつている。

出生は六百六十一、死亡は二百九十六、婚姻四百十八、離婚十六縁組六十二、分籍三十五などとなつている。（戸籍課）

一月　市長室往來

◇五日城陽町長西村義一　◇六日新日国工業株式会社常務取締役町野親、日国工業株式会社岩上猛夫京都府経済部農務課水山登　◇七日京都府衛生部総務課長吉田宣二朗、京阪電鉄事業課長桜根和久、京阪電鉄営業局経営部経営課長西口哲夫、京阪電鉄営業局次長鳥谷隆弘、京都府衛生部長小池鉄道、大華工業株式会社土木部長増田勇治、小山新三郎　◇十二日舞鶴市議長河島努　◇十三日城産建設株式会社古川保夫、同取締役社長星山政文、同技術課長新宮秀造　◇十八日近畿地方建設局計画検査課課長補佐南宏　◇十九日伏見区中書島共立組合取締高岡寛、伏見旅館組合長安達清、自由評論社長藤井音次郎、毎日新聞伏見通信部湯川鴻之助、国鉄宇治駅長中村幸治宇治郵便局貯金保険課長羽野虎三関西兵器用火薬株式会社取締役緒方重安（敬称略）

菟道第二校で市連合育友會

教育振興の決議

熱心な分科会の討議

市連合育友会は去る一月二十二日菟道第二校に研究集会を開催教育長、連合育友会長のあいさつ、市長の祝辞あつて分科会に入り、熱心な討議活潑な意見が続出した総会において次のとおり、教育振興の決議と、学校教育への要請を行つたが、研究討議の実現化と、全会員へ滲透徹底がのぞまれた。

因みに各分科会の主なる討議を紹介すると

第一分科会

本会では、主としてPTAの運営上特に改善工夫を加えるべき点に討議が集中された。貴重なる意見として

1、公費に依る予算が貧弱なためPTAにしわよせが来て学校経費の援助が主たる仕事になつていないか。

この結論として教育費の増額を望むと共にすべての会員がもつと自覚することに一致した。

2、会員を啓蒙するための研修会や弘報活動を活潑にすること

3、服装が派手になつた事がPTA行事の出席低下の一因と見られるのでお互の注意が必要であること。

第二分科会

この分科会では主として環境の浄化と安全教育についての討議が行われた。大久保キャンプがあり最近事件が起つただけに基地を中心とした問題に集中されたが、結論としてPTAだけではどうにもならないから、各種団体との連絡を強化して問題が発生してから騒ぐのでなく、事前に萬全の策を講じることの必要が強調された。それと共に民族の自覚を高め国力を充実して駐留軍を帰すようにせぬと、大久保地区がその犠牲になつていると慨嘆する声もあつた。

家庭人、社会人がお互いに注意して、悪環境による不良化を防止すること、教育委員会で教育文化映画を巡回して、悪い映画を見せぬようにしてほしい。などの強い希望的意見も聞かれた。

あらゆる社会教育関係団体との連絡強調を強め、所謂綜合教育の実を挙げなければならぬことが叫ばれた。

第三分科会

第三分科会は主としてPTA活動を活潑化する方法について討議された。

PTAの会合に校長や係の先生は出席はするが現場の先生の顔が見えないので先生の声がきけないとの意見に対し、Tからは雑用が多くて暇がないと辯解、もつと定員を増やして先生が教育に専念出来るようにすべきだ。

PもTも子供をよくしようという愛情と責任に結ばれて、お互いがカミシモをぬいで話合う。そのためには買物籠をさげエプロンがけでも校門を出入する位にならねばならぬなど、婦人の井戸端会議をそのまゝPTAの話合にもつて来るなどと真をついた意見があつた。

出席向上をはかるために制服を作ること、校業を繰変えて日曜日に行い、男子の出席者を多くすること、回数を多くするより内容の充実した行事により会員の感銘度を深めること、地域懇談会の強化を図ること、成績其の他の連絡も一寸紙片にでも記入して、子供に持たせてかえすこと。

以上各分科会とも、制限時間を越える議論百出、活況であつた。

当日総会で行われた決議は次のとおりである。

決議

本日本市連合育友会研究集会において得たる育友会の使命の重大さを再認識し学校教育に新たなる熱意を以て対処し本市教育の振興に邁進することを宣言します。

昭和三十年一月二十二日

宇治市連合教育会

浅春雑話

小山靜夫

勤め人と云う稼業のあわたゞしさ……。昨年十一月に宇治工場長として着任いたしましたが、宇治勤務は、昭和三年に入社以来、丁度五回目になります。南国紀伊に育つた私には、底冷えのする宇治の寒気に、いつもながら辟易いたしますが、それにも増して、馴染み深い風光には、改めて心うたれるものを感じます。……と、申しますのも、私の故郷にも、三舞山と言つて、喜撰山より少し高い山が聳え立ち、大日川と呼ぶ、宇治川に対応すべき奔流がありますので この望郷の思ひを透して宇治の山河を眺め直しているせいかもしれません。

鬼貫の句に
茶の花や春によう似た朝日山

と云う、待春の情こまやかな詞情がありました。宇治橋から川上を眺めた展望……曲線美に富んだ朝日山と御殿山から、川霧にかすみながら入り組んだ山峡の幽艶さは、まさに前述の待春の情……と言つたところでありましよう。

私が管理いたします工場も、終戦以来……幾多の苦難と戦つてやつと今日あるを得たのであります。今やつと大寒を經て立春の浅春にたどりついたと言つたところであります。今夏から、人絹の他に、更に合成繊維の製造にとりかかりますが、この建設が成功して、初めて啓蟄を経、春分を過ぎ、清明の朗春が迎えられると云うものです。

早く朗春に恵まれるよう…市民諸賢のご支援を願う次第です

（日本レイヨン　宇治工場長）

新有権者におくる言葉

新有権者の皆さん成人式をお済ませになりお目出とうございます

さて皆さんすでに御承知のとおり皆さんは満二十才に達した日から日本国民として国会議員をはじめいろ〳〵な選挙に投票する権利をお持ちになるわけです。

この選挙権というものが、いかに大切なものであるかは今更申し上げるまでもないことです。

特に現在衆議院議員の総選挙や各種の地方選挙が目の前に控えております。皆さんが新しく得られた国民としての権利を立派に果されることを心からお願いする次第であります。

選挙人名簿

選挙人名簿とは、公正な投票を確保するため選挙権のある人を登録する薄冊のことです。この名簿によつて投票を行うことになつておりますので選挙権があつても名簿に登録されていない人は、投票できません。名簿は基本名簿と補充名簿とがあり、いづれも国と地方の各選挙を通じて用いられます。

基本名簿とは毎年九月十五日にその日まで引続いて三ヶ月以上同じ市町村に住んでいる人で十二月二十日に満二十歳以上の者を原則として登録します。この名簿は十一月五日から同月十九日までの間一般の人に見せることになつております。もし登録の資格の有る人で登録洩れがあつた場合は市の選挙管理委員会に異議の申立をして修正してもらうことができます。

補充名簿とは基本名簿ができ上つたあとで選挙権を得た人のために選挙が行われる都度作られる名簿で、基本名簿に登録されていない人を登録する名簿です。この名簿は申請によつて作られるものですから選挙権がある人でまだ名簿に登録されていない人は選挙のある前には必ず申請するように注意しなければなりません。

（市選挙管理委員会事務局長）

宇治市文化の集い

三月上旬に……

前号「宇治市政」に予告いたしました「文化の集い」は其の後主催者に於きまして……協議の結果種々の事情を考慮いたしまして、三月上旬（六日から十三日までの適当な日）に開催することに決定いたしました。会期は三日間位とし、目下会場其の他に就き具体的に選定中であります。種目は前号及び出場参加御希望の方は、御遠慮なく市教委（菟道校内）社会教育課又は文化協会理事へ御申込下さい。締切は二月中でありますが、近く宇治市煙草耕作組合を結成し、一層軌道にのせたいと思いますから、農家各位の一層の理解と協力をのぞみます。

（農林係）

たばこの栽培で農家を豊かに

近く耕作組合の設立

農事手帳

農家の経営はとみに苦しくなつてきました。これを打破するためには、一般農作物とはことなり、市場での価格変動に全然わずらわされぬ、安定した、しかも低位生産地にも作付可能な換金作物が是非とも必要であります。

市ではその意味で、煙草の栽培を今年の事業にとり上げ、栽培計画を進めています。

専売公社より候補地検分の結果土質、傾向、排水等立地の条件としては、府下随一と折紙をつけ、専任技術員を派遣して協力されています。

市では一般農家や開拓農家に対する生産奨励の意味から、農業協同組合と密接な連絡をとり、煙草耕作の斡旋にのり出したところ、本幡開拓地、炭山神明地帯において、三十一軒で二〇〇反にわたる耕作反別が確保出来、いよいよ二月より苗床に着手することになりました。

市ではこの煙草の耕作をもつて未開墾地を開拓し、その経営を煙草の収益で償却する。純然たる営農と開墾の目的から推進するわけです。

あたらしい宇治市の成人・お目出度う……

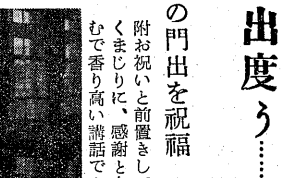
有意義な催しで　かがやく人生の門出を祝福

一月十五日成人の日―宇治市では、市教育委員会、連合婦人会の共催のもとに、この日新らしく成人となつた男女約八百人を、菟道第二校にまねきお祝の式を行つた。

主催側の挨拶について、池本市長の祝辞、新成人を代表して岡西順一君謝辞をのべ、金員に鏡とクシを贈呈した。

「文化国家と青年の使命」について、鰐坂京大教授の講話、映画「しおざい」の上映などに賑つたが、宇治自衛隊でも百五十人の隊員が参加して、有意義なる催しをおわつた。

当日池本市長の祝辞は、条件附お祝いと前置きして、諸ぎやくまじりに、感謝と自覚をのぞむで香り高い講話であつた。



（祝辞をのべる市長）

感謝と誇りを

市長祝辞要旨

皆さんは、これで、名実共に一人前になられたわけで、心から祝福します。然し問題は、皆さんが今后の長い一生を、どうして行かれるか、どうであるかにあります。その如何によつては今日を祝うべきでもあり、又然らざることもあり得る。その意味では、このお祝いも、皆さんの今后が良いと云う、前提の条件付であります。

今后、皆さんの一生には、私生活と、公生活の両面があるがその何れを通しても、私の希望するところは、戦后の日本人の実態から考えて、凡ての事がらに対する「感謝」を忘れないことと、自已個人及社会人、日本人としての自覚、即ち矜持とをしつかり把握していることであります。

今日迄の養育に対する親への感謝、学校へ入つてからの先生への教育の感謝、その学校設備に対しての一般市民、社会、国家への建設の感謝等々、これを忘れる処に、無用有害な多くの闘争があり、遺憾ながら、それが戦後日本の実態だと考えます。

又物質的、精神的、流行風潮に対しても、その良し悪しを判別し、自己の最も良い途を選ぶためには、しつかり自己と云うものを自覚し、自分として、又国民として、日本人たるきん持を堅持することです。さすれば育目的に附和雷同無きを得るのです。

日本の衣食住は、二千年の自然陶汰から生れた結実で、その内には沢山良いものがあるのだ昔しのものだから、古いものだから、すべていけないなどとすることは誤りであります。

無論、良い新しいものはどんゝとり入れると同時に、古きものも良いものは保存しなければならない。その良き尺度として、「自分」と云うものを、しつかり把握せねばならぬのであります。（云々）

宇治市と観光文化（一）

宇治市が生れて早やくも満三ケ年となり、宇治観光並古文化財も「ボツ〳〵」と明瞭化される時期も近づいて来つゝある様に感ぜられる。

宇治市政に於て全市民の希望は宇治観光事業であり古文化財であり宇治文化である。

観光事業は御承知の通り企畫、受入態勢、実行の三原則である故に之れに付いて先づ第一に宇治観光事業について私見を述べて見やう。

宇治市は一般に唱えて居る実際の観光地でなく名勝の地であり、然かも遇辺地区よりする途中下車の観光地又は名勝の地である。

此の名勝の地は全国はもとより海外に知られつつある。宇治茶と共に真の観光地として百八十度の転廻をするには如何にするかが重大問題である。

私しは先づ第一に一ケ年を三期に分割するのが最上と考える。

第一期　三、四、五、六月
第二期　七、八、九、十月
第三期　十一・十二・一・二月

とする。

第一期は御蔭様にて心配なく相当数の遊客あるが、之れも他の地区と異なり永続せず県祭を以つて春の客は終りである。

第二期は来遊の人は一変し真の宇治の清遊と古文化財の来宇の人となつて居る。

第三期は全く冬枯である。

以上が現宇治観光文化の現状である。

此処にK電鉄を例に取つて見やう。

K電鉄並に他の電鉄は皆春夏秋冬の地区を持つて居る。

K電鐵線は御承知の通り春は宇治が最上の遊致地区であり、宇治川ラインの利用に最上の季節と、一面近畿の人は、昔より春は宇治と云う事が大衆に民衆化されて居るからである。

第二期は琵琶湖の水泳、水に依るスポーツ、キャンプ等、全部湖を上手に利用し、湖水としての自然美を生かし夏の遊致に努力なし、近畿東の避暑地「エイ山」を持つて、新聞社と共催して避暑遊致に全力を盡して居る。

第三期は冬の「スポーツ」及京都市内に、又其綴合せとして枚方に「力」を入れて居る。

以上の場合に於て今、宇治市の第二期、第三期の現状を見る時、宇治市観光の発展の為め企畫なり計畫なりが、宇治市政の一部原動力として如何に重大であるかを感ぜられる。

（総務課　岡田博）

人権擁護の御相談は

二月十六日　川東公民館で

大久保出張所だより

昭和三十年を迎えて市民の皆様と共に新しく再出発し、明朗なる住よく暮しよき吾等の宇治市にせんと大いにはりきつて居ります。

出張所長に対し市民の方より色々の申出がありましたが市長の代行としての所長権は限りあり、すべてが総務課に属して、連絡事項を致して居ります。

出張所管内自治会に於ては十五の自治会（旧町内会）を十六自治会とし、大久保町に且椋町自治会を組織し、尖山町を広野ケ丘自治会と改め大久保町に区長を設け広野町を東部と北部中部南部と二百戸前後を以て区劃し、各連絡区長を設けました。其中に七十の小自治会があります。（旧隣組）出張所には各区内住所、位置氏名明示の通路地図を作製して世帯主人名簿いろは順と共に外来の問合せ訪問に便ならしめ、尚公民館活動は追々完備して居ります。元来公民館は役所の公民館ではありません市民の公民館ですから十二分にご利用下さい。

市役所、大久保出張所とは全然別のものです。現在各種団体が殆んど毎日使われて居ります。但し個人の利益の為には只今使用許可致して居りません。然し私は将来市民何れの為にも許可すべき時代が来ると思います。婦人会、青年会、青年学級、文化会、栗隈劍道会子供会諸種の研究会等に使用せられる事となり誠に喜ばしき事です。

宇治市の南端大久保地区と致しましては米軍基地のある間は今後種々の難問題が起ると思ひます。

昨年は飲料水の問題、交通事故外灯問題、子供遊園地等々幾多の事実が宇治市の南部として、玄関口として進発幾分の解決を見ましたのであります。宇治市発展の為一層の御協力をお願い致します。

（大久保出張所長　今西兵太郎）

郷土文壇

詩　短歌　俳句の市民文芸を歓迎いたします。採用は編集室におまかせ下さい。

寒吟鈔

寒念仏法華の衆の一はなし
咳けば鴨一齊に向き直る　黄槃
寒牡丹無垢の操として白し　〃
日半は寒牡丹の覆外づすべく　植村
青くびの無惨な程が雪に美し　柳浦
便りなき夜布團を深くかむり寝る　〃
潮先に浮びて鴨の身の軽き　植村
星凍る大地をしかと踏みしむる　源石
湖心より明け初む白き鴨の鳴く　宇治
古弦をきりゝとして寒牡丹　藤本
雪なぎの鴨立つ沢となりにけり　黄槃

（景月採録）

★

初日出喜撰が峯につづく雲　小倉
初日影今年は松も手入せん　木下
押合ふはデフレの波か初詣　翠雲
初仕事腕にこたふる金庫の扉
出初式勢ふ五彩の龍吐水
そのなやみほぐせぬまゝに松過ぎて

森林ニュース

◉「野うさぎ」をとりましよう

宇治は古名を菟道と云い「うさぎ」の住みよい処とみえて其の繁殖は甚だしく植林した苗木を始め田畑の被害は甚大である。

森林組合では昨春来捕獲網を備へつけ、希望者に貸して居る。

うさぎ狩のシーズンとなつて来たので学校団体、町内会など大いに「うさぎ狩り」をやつて頂きたい。網は森林組合で貸します。

◉椎茸のホタ木を確保しましよう

くぬぎ、なら等は割木にせず、他の雑木を燃料材とし、椎茸榾木の確保に努められたい。

椎茸は益々有望で市内各所に乾燥設備も出来るので益々増産を図る。

市政放送

ラジオで早く

毎木曜午后一時二十分

KHK京都放送

椎茸増産に一層の拍車

市内すでに九万本　益々有利な販路

廿七年より奨励致しました椎茸も、皆様方のなみ〳〵ならぬ御努力により、今や九萬本を数え、その生産額も最盛期には、年間三百萬円の収入を予想されるに至り、府下有数の椎茸生産地として躍進しつゝあります。

今後の椎茸栽培は、来るべき海外貿易の再開と共に、益々有望の一途にありますので、皆さんも緊揮一番之れが増産を計られん事を御願い致します。

○椎茸栽培を奨励する理由

1、資本が余り要らない。
2、努力配分に無理がない。
3、資材副資材の入手が容易である。
4、特別の技術を要せず誰でも作れる。
5、観光地として、並びに大都会に近接した生産地として、販売面に心配ない。

○原木は二月初旬～三月中頃迄に伐採し、根切したまま山に放置し、三月末頃玉切し乾燥して置きませう。

○種菌及器具は、あなたの部落の椎茸連絡員に、一月末までに申し込んで下さい。（菌一瓶二〇〇円　器具一組六〇〇円の予定）

市政雑感

△別項十八日の市長訓示が口頭でせられた。市長の本意は、この種のものを文書でして、後に残るは市政の為に面白くないという心やりであつたと伝えられる。

△又その市長は斯く云つても、一方その内で未永く階老を楽しむものなら、誰れか良い月下氷人もがなとの本意もあるとか言う。

△今のむさくるしい、食堂の改善、それに予てからの希望であつた自転車置場の新設が計畫せられている。

△斯くして緩厳並び進行する市政の前進に大きい期待を懸けたいと思う。

△明るい話題といえば、この十九日から、近畿物産観光列車が計画され、宇治市からも、名産の茶と観光展示で九州一円を、走ると言う。折角好果を希待したいが、

△望むらくは例の茶と観光にかぎらず、九州には仲々ながりの ある日本レイヨンの製品や、その他もろ〳〵の宇治物産の大見本市として、一車ぐらい買い取つてもよい所だ。

△何も彼も行きづまりまで来ているのだ。とても甘い考えではだめだ。こゝで大きく一回転、新規まき直しの新らしい基盤に立つて起死回生の道を見出すべしと真剣に語り合つた日である。

△国も、市も、そしておのれ自身も、はたして弘報がそれにこたえる役立ちをするか？一段の御支援を願いたい。

眼耳壁

市民の声「天眼壁耳」は明るいわれわれ市民の窓だと反響をよんでいます。

一、市政にのぞむ
二、市役所にのぞむ
その他、宇治市をよくする、建設的な御意見はどし〳〵御投稿下さい。

▲宇治市木幡　有井梁雄

茶と観光を中心に、外客誘致の施政には常に努力して欲しい。一度の来遊客には再度杖を曳かす丈けの魅力を保持せしめて欲しい。…京阪、省線共駅前の第一印象は万全とは云い難い。町の清掃、明るさ、共同便所の増設等が考えられる。

京阪神方面への通勤可能地丈けに住みつく人も有ると思われる。気の利いた市民住宅地乃至市民住宅が欲しい。

市税離保の為納税組合設立に格段の積極性が望ましい。

上水道の鉄氣はとれないか。

旧火薬庫及その周辺地区に有力会社を誘致、以て市財源の一助としたい。

財源がゆるすならば、町を明るく、点燈を要する場所が随所に見受けられる。以上を思いついたまま。

▲市内宇治　上林春松

一、公約の実行
2、ガラス張り市政
2、健全財政
3、宴会政治の絶滅、食糧費等の削減

▲宇治市木幡東中　片山寅之助

一、市政には従来観光方面にのみ重点が置かれて居る様ですが、今后は産業特に蓄産方面に力を注いで、財政方面の実力を持つ様に将来市の発展を希望する。

二、市民保健衛生の為め、三ケ年計畫位の市民保健病院の建設の即時着手と。旧火薬庫跡（山）を市が借受けし（一）の目的に添う施設を是又即時着手

▲宇治市木幡東中　片山寅之助

一、市民だれでも納得の出来る市政。
二、平和観光都市として市政の目標を一貫すること、従つて火薬製造所設置絶対反対。地域の主婦は皆それを望んでいます。その点で京都市の絶対反対に同調していただきたいと思います。
三、市民のお台所（生活）に直結する市政
平和に宇治市に安住出来るような政治をして下さい。他より高い市民税は御免です。
4、宇治市を平和文化都市に、火薬製造復活反対
二、市民に親切な役所になつて欲しい
1、セクト主義を排し、横の連絡を密に。
2、官僚的旨行を慎しむ事。

▲宇治市木幡　平岡澄江

厳寒のところ益々御健勝で御活動を多謝いたします。

宇治市政の一月号は見ちがえるほどよくなりました。恐らくこの方面に理解のある市長のテコ入れの力でしようが、弘報活動を、市政の前面に押し出そうとする池本市長の方針？は、半年位いで、市民の心を完全にキャッチするでしよう。

御健闘をおいのり致します。

▼簡易水道の施設を熱望する　広野町M生

広野町一帯は従来より水不足の為に苦しみを続けて来た、地区民は合併市制施行によつてこれが蕾工があるものと期待してゐたが、合併以来満四ケ年を経た今日未だ何の音沙汰もない。

健康にして文化的な市民生活を営む為には水道施設の必要なことは言を待たない。市では時局柄諸事業を廃するといふ意向のやうに承る。斯の如き重要な事業に対してはあくまで市民の福利の為に断呼として実行せられんことを望む。